

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	デジタル式同報系防災行政無線整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 3年度

【事業全体概要】

事業の概要	地震や風水害などの自然災害や武力攻撃などの緊急事態の場合、市民等へ迅速かつ確実に情報を伝達するため、屋内で災害時の緊急情報等を受信できる防災ラジオの普及を図るとともに、難聴地における対策を講じる。 なお、市内全域におけるデジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局の拡充整備を行う。		
5年度概要	戸別受信機設置工事（玉藻中学校戸別受信機アンテナ） 屋外拡声子局電源引込移設工事（旧屋島分団第1部消防屯所）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	災害時には市民への多様な情報伝達手段が必要であることから、その手段の一つが確保され、災害情報伝達の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
各年度における防災ラジオ整備率	%	30				100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	デジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局	箇所	目標値	157	157	157	157	157
			実績値	156	157	157		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） デジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局について、令和3年度で拡充は完了した。適正に維持管理していく。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,562	20,732	16,896	7,856
（事業費）	[円]	5,080	13,182	9,412	372
（職員人件費）	[円]	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 防災ラジオの難聴地対策及びデジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局の設置は令和3年度で完了した。完了後は適正に維持管理していく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 公共施設、避難所などに設置している防災無線受信機の整備を行っていく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	防災IoT利活用事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	近い将来、発生が確実視される南海トラフや、全国各地で発生する風水害から、市民の生命及び財産を守るために、水防計画上の観測地点に水位センサーや潮位センサーを設置するなどし、共通プラットフォーム上でデータの収集や分析等を行い、災害発生時の迅速な対応に活用する。また、潜水橋の冠水状況や道路の通行止め情報、停電情報など、災害発生時の減災、復旧・復興に必要な様々な他のデータについても収集・分析を検討し、より効率的・効果的で迅速な災害対応を行う。				
5年度概要	防災WEBカメラ等保守委託等 アンダーパス水位監視装置 水位・潮位カメラ(可搬式含む) 可搬式水位観測器移設				
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理	

【事業の目的】

対象(何を)	災害対応に従事する本市職員、高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	災害の発生予防や災害応急対策等について、あらゆる防災IoTを活用し、効率的・効果的で迅速な災害対応が行えるようにする。 また、災害に関する情報をオープンデータ化することで市民に情報を提供し、迅速な防災行動を促す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
カメラやセンサーなどの設置箇所数	箇所	34	34	41	50	34

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
成果指標	水防本部等設置時の共通プラットフォームへのアクセス件数	件/日	目標値	3,500	4,000	3,500	3,500	3,500
			実績値	585	829	1,406		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度の実績値を超えるアクセスがあり、防災の一助になったとともに、少しずつ情報の所在が認知されてきたと考えられる。 (目標達成度)			(達成度) 40.2% 14点				
成果指標	IOT共通プラットフォーム上に表示する防災関連データソース数	件	目標値	8	10	10	10	10
			実績値	10	11	11		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 共通プラットフォーム上に表示するデータ数は、マニフェストを達成している。よりわかりやすい表示を検討していく。 (目標達成度)			(達成度) 110.0% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	11,442	9,791	9,469	9,660
(事業費)	[円]	3,960	2,241	1,985	2,176
(職員人件費)	[円]	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

防災IoTを活用するため、観測機器の維持管理に努めた。また、災害時には、共通プラットフォームへの情報更新を随時行い、水防本部設置時の共通プラットフォームのアクセス件数も伸びているが、迅速な防災行動を促すためにも引き続き誘因方法の検討を行う。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

効果的な運用を行い、より迅速な対応による市民の安全確保のため、更なる防災IoT利活用の拡張を模索する。